

小児外科

1 構 成 員

	平成 28 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
病院教授	0 人	
准教授	0 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	0 人	(0 人)
診療助教	0 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	2 人	
医員	1 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	1 人	
合計	4 人	

2 教員の異動状況

川原央好 特任准教授（採用）（平成 25 年 4 月 1 日）～現職

小倉 薫 特任講師（採用）（平成 26 年 4 月 1 日）～現職

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 27 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	6 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	7.41	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	1 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	3 編	(2 編)
そのインパクトファクターの合計	0.73	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Kawahara H, Tazuke Y, Soh H, Usui N, Fukuzawa M: Causal relationship between delayed gastric emptying

and gastroesophageal reflux in patients with neurological impairment. *Pediatr Surg Int*,31,917-23,2015. IF 0.995

インパクトファクターの小計 [0.995]

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
1. Tazuke Y, Okuyama H, Uehara S, Ueno T, Nara K, Yamanaka H, Kawahara H, Kubota A, Usui N, Soh H, Nomura M, Oue T, Sasaki T, Nose S, Saka R: Long-term outcomes of four patients with tracheal agenesis who underwent airway and esophageal reconstruction. *J Pediatr Surg*, 50, 2009-2011, 2015. IF 1.387
 2. Yamoto M, Tanaka Y, Fukumoto K, Miyake H, Nakajima H, Koyama M, Mitsushita N, Nii M, Kawahara H, Urushihara N: Cardiac fetal ultrasonographic parameters for predicting outcomes of isolated left-sided congenital diaphragmatic hernia. *J Pediatr Surg*, 50, 2019-2024, 2015. IF 1.387
 3. Soh H, Fukuzawa M, Kubota A, Kawahara H, Ueno T, Taguchi T: Megacystis microcolon intestinal hypoperistalsis syndrome: A report of a nationwide survey in Japan. *J Pediatr Surg*, 50, 2048-2050, 2015. IF 1.387
 4. Hirano K, Kubota A, Nakayama M, Kawahara H, Yoneda A, Tazuke Y, Tani G, Ishii T, Goda T, Umeda S, Hirno S, Shiraiishi J, Kitajima H: Parenteral nutrition-associated liver disease in extremely low-birth weight infants with intestinal disease. *Pediatr Int*, 57, 677-681, 2015. IF 0.730
 5. Kubota A, Goda T, Tsuru T, Yonekura T, Yagi M, Kawahara H, Yoneda A, Tazuke Y, Tani G, Ishii T, Umeda S, Hirano K: Efficacy and safety of strong acid electrolyzed water for peritoneal lavage to prevent surgical site infection in patients with perforated appendicitis. *Surg Today*, 45, 876-879. 2015. IF 1.526

インパクトファクターの小計 [6.417]

（2－1）論文形式のプロシーディングズ

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. 川原央好:小児における栄養管理.外科と代謝,49,129-130,2015.
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

（5）症例報告

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. 平出 貴乗, 坂口 孝宣, 木内 亮太, 武田 真, 柴崎 泰, 森田 剛文, 鈴木 淳司, 川田 一仁, 小林 良正, 川原 央好, 馬場 聡, 松田 宏一, 今野 弘之: 10 代に発症した肝間葉系過誤腫の 1 例. 肝臓, 55,756-763,2015. IF 0

インパクトファクターの小計 [0]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Hirata K, Kawahara H, Shiono N, Nishihara M, Kubota A, Nakayama M, Kitajima H: Mesenteric hernia causing bowel obstruction in very low-birth weight infants. *Pediatr Int*, 57,161-163, 2015. IF 0.730
2. 梅田 聡, 窪田 昭男, 合田 太郎, 田附 裕子, 米田 光宏, 川原 央好: 高位結紮により卵管閉塞の危険があった外鼠径ヘルニアの1女児例. *日小外誌*.51,259-262,2015. IF 0

インパクトファクターの小計 [0.730]

4 特許等の出願状況

	平成 27 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

（万円未満四捨五入）

	平成 27 年度	
(1) 科学研究費助成事業（文部科学省、日本学術振興会）	2 件	(333 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	1 件	(10 万円)
(3) 日本医療研究開発機構（AMED）による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 科学技術振興機構(JST) による研究助成	0 件	(0 万円)
(5) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(6) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(7) 受託研究または共同研究	0 件	(0 万円)
(8) 奨学寄附金	6 件	(126 万円)

(1) 科学研究費助成事業（文部科学省、日本学術振興会）

川原央好

基盤研究 (C) 1,339,933 円

重症心身障がい児の胃食道逆流症の病因としての上部消化管 motility 異常の解明

小倉薫

基盤研究 (B) 1,991,420 円（広島大学からの継続）

小児肝がん国際共同臨床試験に向けた新たな治療戦略のための分子基盤の構築

(2) 厚生労働科学研究費

川原央好

平成 27 年度厚生労働科学研究費補助金 10 万円

難治性疾患等政策研究事業 (難治性疾患政策研究事業 課題番号: H26-難治等(難)-一般-045)

研究代表者 九州大学小児外科教授 田口 智章

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	1 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	2 件
(3) 学会座長回数	0 件	4 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	6 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

(1) 国際学会等開催・参加

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

2) 学会における特別講演・招待講演

- ・ 川原央好. 食道インピーダンス pH モニタリングでわかること 第 46 回日本小児消化管機能研究会 スポンサーセミナー 倉敷 2016/2/13

3) シンポジウム発表

- ・ 川原央好、田附裕子、曹 英樹、福沢正洋. 漢方薬の小児の栄養管理への導入とそのエビデンス. 第 30 回日本静脈経腸栄養学会特別シンポジウム 基調講演 神戸 2016/2/13
- ・ 川原央好、田附裕子、曹英樹、位田忍、福澤正洋 小児期発症の慢性偽性腸閉塞症(CIPO)の病態と治療戦略 第 57 回日本平滑筋学会総会 シンポジウム 山口 2015/8/26

4) 座長をした学会名

- ・ 第 53 回日本小児外科学会学術集会
- ・ 第 46 回日本小児消化管機能研究会
- ・ 第 20 回日本小児外科漢方研究会
- ・ 第 30 回日本静脈経腸栄養学会

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

- ・ 日本小児外科学会 評議員
- ・ 日本静脈経腸栄養学会 学術評議員
- ・ 日本静脈経腸栄養学会東海地方会 評議員

- ・ 日本小児消化管機能研究会 幹事
- ・ 日本小児外科漢方研究会 幹事
- ・ 日本小児外科代謝研究会 幹事 会長 (2015-2016)

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	0件

(1) 国内の英文雑誌等の編集

(2) 外国の学術雑誌の編集

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

- ・ World Journal of Gastroenterology (中国) 6回
- ・ Pediatrics International (日本小児科学会) 2回
- ・ Auris Nasus Larynx (日本耳鼻咽喉科学会) 1回

9 共同研究の実施状況

	平成27年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成27年度
産学共同研究	0件

11 受賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

15 新聞，雑誌等による報道